

鳥羽のお宝 再発見!



vol.16

教育委員会生涯学習課
☎ 1268

神島八代神社神宝の謎⑤

その数71面!
大量の鏡の意味とは!?

八代神社の神宝の中には、以前に紹介した古墳時代の鏡以外にも、奈良時代や鎌倉時代の鏡が大量に残されています。県内では多度神社の30面

という多い例がありますが、八代神社のものはそれをはるかにしのぐ数で、あることがわかります。中でも「瑞花双鸞八稜鏡(ずいかそうらんはちりょうきょう)」と呼ばれる鏡は、日本でも類例のない貴重なものとされています。



瑞花双鸞八稜鏡(ずいかそうらんはちりょうきょう)。円鏡の周囲が中央のつがった8枚の花弁状に縁どられています。

の神門神社に残るものと同じ鏡もいくつか確認されていて、これらの地域が神島と何かしらの関連があったと考えられるのです。

なぜ、こんなに大量の鏡が残されているのでしょうか。神宝の中に金銅製の蓋や、白磁の合子が含まれていることから、神島に「経塚(きよ

うづか)」と呼ばれる経典を納めた塚が存在したとも考えられます。

「経塚」とは、平安時代に末法の世にお経が無くなることを恐れて地中に経典を納めるために造られたもので、次第に極楽に行けるようにという祈りや死者の供養のために造られた塚のことです。鳥羽の近くでは朝熊山の経塚が知られていますが、神島にも経塚が存在した可能性があります。

しかし、それだけではこの大量の鏡の説明はつきません。海上交通の要所として奉納されたなどさまざまな要因が考えられますが、これらの謎は、これから徐々に解明していかなくてはなりません。



宝物殿に保管されているたくさんの鏡。非常に貴重なものが多く含まれています。

みんな子育て



子育て広場

だっこでほっと

ふれ愛あそび

vol.12

子育て支援センター
☎・FAX 7221

子育て支援センターでは、9・10月に講師を招き、手遊びや指遊び・わらべ歌など、音楽に合わせて体を動かし、バスタオルや新聞紙で遊ぶ、「親子ふれ愛あそび」を開催しました。

「単純なことの楽しさ」「家に帰ってもできる遊び」「身近なものを使つての遊び」をたくさん紹介していただき、親子でリラックスした楽しい時間を過ごしました。

参加されたお母さんから、「聞きなれた曲がたくさんあって良かった」「ぐずつているときにあやして遊べるものをたくさん教えていただきたい」「自宅でもやってみよう」との声が聞かれました。

子育ては、わらべ歌のような親子の「ふれ愛あそび」が大切だと感じさせられます。

東北地方に伝わるわらべ歌の語り伝えは生きる力を育ててくれ、また、心を伝える方法として大切にされたそうです。

お母さんと目と目を見つめ合い、肌のぬくもりを感じることで、どれだけ子どもたちがいっぱい愛情を感じ、安心することでしょう。

どんな上手な歌よりも、大好きなお母さんの優しい声とまなざしが、こどもには一番です。

「大好き」の思いをたっぷり込めて、ゆっくり歌って、しっかりと抱きしめてあげてくださいね。

❖こりやどのじぞうさん❖
こりや どの じぞうさん
うみの はたの じぞうさん
うみに おちて どぼーん